



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,543	1.9	35	36.8	38	34.5	40	9.6
2021年3月期第3四半期	3,612	5.9	56	538.6	58	360.7	44	348.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 38百万円 (24.6%) 2021年3月期第3四半期 50百万円 (325.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	57.63	
2021年3月期第3四半期	63.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	3,198	1,085	33.9	1,551.34
2021年3月期	2,875	1,058	36.8	1,512.01

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,085百万円 2021年3月期 1,058百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		15.00	15.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,787	1.9	20	58.8	22	56.2	9	81.3	12.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	705,500 株	2021年3月期	705,500 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	5,745 株	2021年3月期	5,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	699,755 株	2021年3月期3Q	699,780 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9
(その他注記事項) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の世界的な長期化の影響が大きく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に繰り返されるなど、景気の先行きを大きく不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、コロナによる緊急事態宣言の下、在宅勤務の増加や消費者の不要不急の外出自粛が引き続き継続する中、多くの外食産業がテイクアウトを開始したことにより消費者の選択肢が広がりました。その結果、当社グループにおいては前年並みの効果を上げることは出来ませんでしたが、昨年から専属担当者を設置しておりますOEM事業は徐々に市場に商品を投入し始めております。またおせち等の年末商品は、感染再拡大の警戒感から外出を控える消費者が多く、お重を中心に好調に推移しました。一方、商談自粛による営業活動の縮小、集客催事の中止や規模縮小が重なり、対面販売をする高額商品は苦戦することとなりました。

このような経営環境の下、化学調味料を使わない無添加自然食品専門企業として50年の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』（2020年4月1日～2023年3月31日まで）を作成しました。その2年目となります当連結会計年度におきましては、オーガニック&プラントベースの分野でカテゴリーNO.1企業を目指し、コロナ後の食品市場における新しい営業活動（コロナ前とは明らかに違う営業活動）を想定し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「嗜好品・飲料」が、口腔ケアスプレー等の売上減があったものの、メイシーシリーズ（菓子）4連タイプ等の売上増により前年同四半期比71百万円増（11.5%増）の6億95百万円、「調味料」が、液体だし等の売上減があったものの、マヨネーズ等の売上増により前年同四半期比18百万円増（1.6%増）の1億46百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、カメラナオイル等の売上増があったものの、えごま油等の売上減により前年同四半期比75百万円減（16.5%減）の3億83百万円、「その他」が、歯磨き粉等の売上増があったものの、ウイルス対策品等の売上減により前年同四半期比34百万円減（31.0%減）の77百万円、「乾物・雑穀」が、国産ひじき等の売上増があったものの、国内産小麦粉等の売上減により前年同四半期比26百万円減（11.4%減）の2億8百万円、「栄養補助食品」が、新商品のビタミンC等の売上増があったものの、終売したケールの青汁等の売上減により前年同四半期比12百万円減（11.0%減）の1億4百万円、「副食品」が、新商品タンメン等の売上増があったものの、パンケーキ粉等の売上減により前年同四半期比8百万円減（0.9%減）の9億26百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、35億43百万円（前年同四半期比68百万円減、1.9%減）となり、売上総利益率25.2%と前年同四半期とほぼ同率となりました。この結果、販売費及び一般管理費は8億56百万円（前年同四半期比3百万円増、0.4%増）となり、営業損益につきましては、営業利益35百万円（前年同四半期比20百万円減、36.8%減）となり、経常損益につきましては、経常利益38百万円（前年同四半期比20百万円減、34.5%減）という結果にて終了しました。また当第3四半期連結累計期間におきまして、投資有価証券売却益が13百万円発生いたしましたので、特別利益に計上しております。その結果、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円（前年同四半期比4百万円減、9.6%減）となりました。

## 品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第3四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

## ① 販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	459,597	12.7	383,688	10.8	16.5%減	マーガリン・ペに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	1,128,497	31.2	1,146,711	32.4	1.6%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	623,323	17.3	695,099	19.6	11.5%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	235,376	6.5	208,516	5.9	11.4%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	935,229	25.9	926,972	26.1	0.9%減	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスブレッド・蒲鉾
栄養補助食品	117,875	3.3	104,889	3.0	11.0%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・基石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	112,622	3.1	77,655	2.2	31.0%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	3,612,521	100.0	3,543,534	100.0	1.9%減	—

## ② 仕入実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	336,105	12.5	299,506	11.2	10.9%減
調味料	852,040	31.6	868,501	32.6	1.9%増
嗜好品・飲料	492,093	18.3	543,200	20.4	10.4%増
乾物・雑穀	197,971	7.4	177,612	6.7	10.3%減
副食品	632,561	23.5	629,475	23.6	0.5%減
栄養補助食品	79,326	2.9	71,994	2.7	9.2%減
その他	102,574	3.8	74,505	2.8	27.4%減
合計	2,692,673	100.0	2,664,796	100.0	1.0%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3億33百万円の増加となりました。この主な要因は、「受取手形及び売掛金」の3億17百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円の減少となりました。この主な要因は、「保険積立金」の9百万円増加などがあったものの、「投資有価証券」の23百万円減少などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3億22百万円増加し、31億98百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億17百万円の増加となりました。この主な要因は、「短期借入金」の20百万円減少及び「未払法人税等」の12百万円減少などがあったものの、「支払手形及び買掛金」の3億53百万円増加などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて22百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の19百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億95百万円増加し、21億12百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて27百万円の増加となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の29百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円の計上）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（2021年5月14日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,415,737	1,391,462
受取手形及び売掛金	649,301	967,146
商品及び製品	241,008	265,960
仕掛品	—	224
原材料及び貯蔵品	22,770	25,260
その他	16,943	29,055
貸倒引当金	△135	△199
流動資産合計	2,345,626	2,678,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	307,094	308,605
減価償却累計額	△255,011	△258,711
建物及び構築物（純額）	52,083	49,893
土地	88,371	88,371
リース資産	47,658	35,009
減価償却累計額	△25,416	△16,761
リース資産（純額）	22,241	18,248
建設仮勘定	502	1,796
その他	195,166	201,582
減価償却累計額	△173,551	△175,904
その他（純額）	21,615	25,677
有形固定資産合計	184,814	183,988
無形固定資産		
その他	11,608	12,874
無形固定資産合計	11,608	12,874
投資その他の資産		
投資有価証券	80,096	56,730
保険積立金	210,025	219,109
繰延税金資産	12,764	13,765
その他	31,664	33,814
貸倒引当金	△742	△718
投資その他の資産合計	333,807	322,701
固定資産合計	530,231	519,563
資産合計	2,875,857	3,198,474

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,313	779,452
短期借入金	516,440	495,634
リース債務	7,202	5,822
未払法人税等	18,120	5,599
賞与引当金	18,690	8,655
その他	100,160	109,131
流動負債合計	1,086,926	1,404,294
固定負債		
長期借入金	374,700	355,550
リース債務	14,404	11,558
役員退職慰労引当金	117,000	124,900
退職給付に係る負債	190,917	182,226
その他	33,875	34,384
固定負債合計	730,896	708,619
負債合計	1,817,823	2,112,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	96,909	126,737
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,052,185	1,082,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,848	3,546
その他の包括利益累計額合計	5,848	3,546
純資産合計	1,058,033	1,085,560
負債純資産合計	2,875,857	3,198,474

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,612,521	3,543,534
売上原価	2,702,071	2,650,825
売上総利益	910,450	892,708
販売費及び一般管理費	※ 853,555	※ 856,737
営業利益	56,894	35,970
営業外収益		
受取利息	53	38
受取配当金	1,712	1,819
仕入割引	2,470	2,286
貸倒引当金戻入額	295	—
破損商品等賠償金	283	313
その他	1,297	1,455
営業外収益合計	6,112	5,913
営業外費用		
支払利息	4,360	3,356
その他	0	117
営業外費用合計	4,360	3,474
経常利益	58,646	38,409
特別利益		
固定資産売却益	—	131
投資有価証券売却益	—	13,537
特別利益合計	—	13,669
特別損失		
固定資産除却損	349	85
保険解約損	126	232
店舗閉鎖損失	—	165
特別損失合計	475	483
税金等調整前四半期純利益	58,170	51,595
法人税、住民税及び事業税	13,542	11,271
法人税等合計	13,542	11,271
四半期純利益	44,628	40,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,628	40,324

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
四半期純利益	44,628	40,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,787	△2,301
その他の包括利益合計	5,787	△2,301
四半期包括利益	50,416	38,022
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,416	38,022
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による変更点は以下の通りです。

有償支給取引については、従来、支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該収益は認識しない方法に変更しました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,174千円減少し、売上原価は20,174千円減少しましたが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に変更ありません。また、利益剰余金の当期期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## (追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定に重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

（その他注記事項）

（四半期連結損益計算書関係）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
荷造運送・保管費	261,349千円	258,975千円
貸倒引当金繰入額	—	40
給料手当及び賞与	215,053	218,848
研究開発費	30,461	27,001
退職給付費用	12,620	11,488
役員退職慰労引当金繰入額	6,800	7,900
賞与引当金繰入額	8,654	8,432

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
減価償却費	23,097千円	18,677千円